

上手にいかそう！ 地域密着型サービス評価

よりよいサービスを利用いただくために

結果はホームページなどで すべて公表されています

急増するグループホーム。8人前後という少人数単位で共に生活して家庭的である反面、外からの目にふれにくいいため運営の密室化や、利用者本人が認知症であるため自らの要求がでにくいといった点が問題視されていました。

そんな利用者や家族の方の「安心と納得の得られるサービス」のために生まれたのが、地域密着型サービス評価です。国は全国の事業所に対して、サービス評価を義務付けています。

外部評価のメリットは、下表のようなことがあげられています。

この目的以外にも、事業所に関する人たちが知識や技術を共有できたり、また、利用者側にとっては、事業所の実情や内容を知る「めやす」になっています。

利用者とその家族にとって安心、安全を提供するためにも質の向上は重要であることから、評価結果はホームページなどで公表されています。

外部評価を行う事でこんなメリットが…

- ① 結果を公表することで、事業所のサービスの質が向上します。
- ② 利用者と家族の安心につながります。
- ③ これから利用する人たちが選択する際の客観的な情報源となります。

調査は年1回

結果を有効にいかすことが大事

地域密着型サービスの評価は、各事業所の欠点をことさらに指摘したり、一方的な外部からの指摘を行うことを目的とするものではなく、評価を通じて、事業所関係者が自己研鑽を推進していくことを積極的に支援・誘導していくものです。

「外部評価」は右のような流れで進められています。

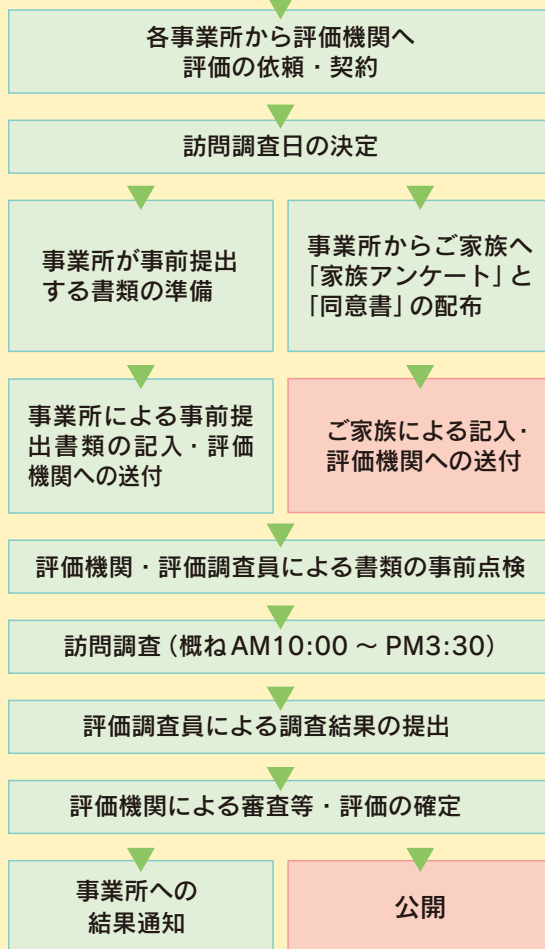
結果はここで

評価結果は、WAM NET (独立行政法人福祉医療機構が運営する福祉保健医療情報ネットワークシステム) のホームページ「地域密着型サービス評価情報」(下写真) と、各市町の窓口で、随時公開されていきます。評価は優劣を競うものではありません。評価結果を元に、さらにサービスの質を向上させるために前向きに事業所の職員と話し合うことが大切です。

ワムネットは
<http://www.wam.go.jp/>



外部評価の流れ



※ 色は、とくにご家族に関係するものです。

愛媛県が選定した
調査機関

● 社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班 TEL (089) 921-8353
● 特定非営利活動法人 JMCS